

# 【テーマ】「RPA（Robotic Process Automation）を学ぶ」

## 【主催】事務システム分科会

## 活動報告

日時：2019年7月12日（金）13:00～17:00

場所：東京電機大学 東京千住キャンパス 1号館 2F 1204セミナー室

出席者：95名

### 1. 研究内容

RPAなんて良くわからないし面倒で難しそうとか、自分の仕事には無関係と思われる方を対象に、今さら聞けない「RPAとは何か」という話から、実際に「RPA」を事務業務へ導入した事例、Excelのマクロ機能を使ったアプリケーションの導入事例等を聞いて、「RPA」という言葉にとらわれず、自分の仕事を少しでも省力化する方法は無いか、検討しました。

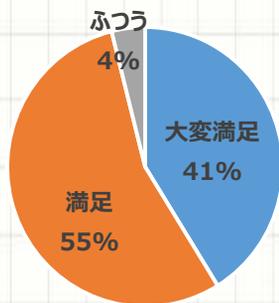
### 2. スケジュール

13:00～13:10	全体会 ・事務連絡 ・会場校ご挨拶 東京電機大学 総務部長 佐藤 龍 氏
13:10～13:45	RPAについて説明 「RPA活用を成功に導くポイント」 富士通株式会社 ビジネスクリエーション統括部 政策連動ビジネス推進部 高本 茂 氏
13:45～14:00	休憩・名刺交換
14:00～15:20	ご講演 「早稲田大学におけるRPAを活用した業務改革と学内展開」 早稲田大学 情報企画部 鳴澤 良友 氏 株式会社早稲田大学アカデミックソリューション 桜井 勝人 氏
15:20～15:30	休憩
15:30～16:00	ご講演 「E X C E L の操作を自動化させよう。By xoBlos」 東京電機大学 入試センター 部長 出原 和明 氏
16:00～16:15	製品紹介 「RPAツール EntreQue(ご紹介) + RPA導入検討時の注意点」 富士通関西中部ネットテック株式会社 ビジネスイノベーション統括部 首都圏ビジネス推進部 部長 阪口 幸雄 氏
16:15～17:00	意見交換・まとめ
17:00	分科会終了

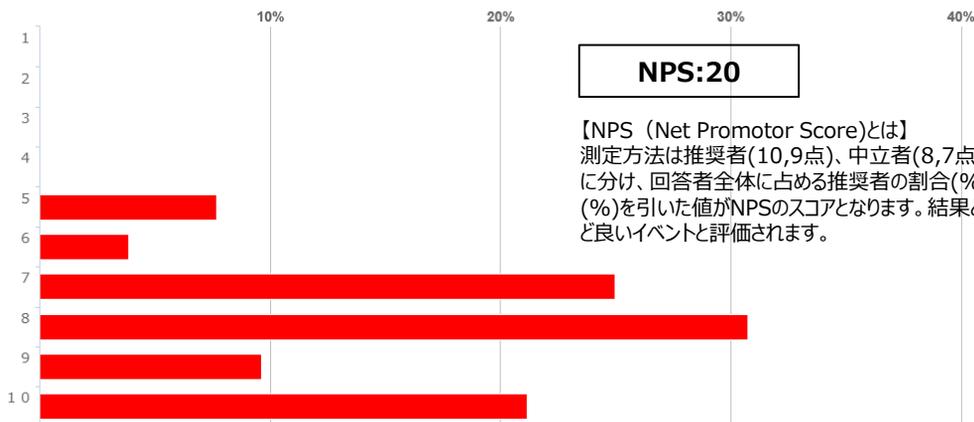


### 3. アンケート結果について

■ 本日の「プログラム内容」について満足度をお選びください



■ 今回の分科会を、どのくらい他の人に推奨したいと思いますか？ 0(おすすめしない) ~10(おすすめしたい)



■ NPSの点を付けた理由を具体的に書きください

RPAについて（良く、ある程度）理解できたという意見（3件）

- ✓ RPAとは何かという初心者レベルからでも理解できるものだった。
- ✓ RPAについて良く理解出来ました。

わかりやすかったという意見（5件）

- ✓ RPA未導入である立場で聞いていても比較的分かりやすかったため。
- ✓ 各講演の内容のバランスが良く、内容も分かりやすかった。
- ✓ 知りたかったことを分かりやすく講演頂けたため。

参考になったという意見（6件）

- ✓ 早稲田大学の例が参考になりました。
- ✓ 事例など参考となる情報が提供されていた。
- ✓ 大学の取組事例がわかったので参考になった。
- ✓ これから必要となる技術であり、導入に向けて大変参考になる内容であったため。

満足・有意義だったという意見（2件）

- ✓ 自分自身の勉強として導入の検討としてどのような方でも満足できると思ったので。
- ✓ 具体的にRPA立ち上げから導入するまでを聞いてとても有意義でした。

必要性や考えるきっかけとなったという意見（6件）

- ✓ RPAの先進的事例を聞き必要性を強く感じたため。
- ✓ 具体的事例を挙げて下さったことによって、導入する際のイメージを皆さん持てたと思います。
- ✓ 講演を拝聴しながら、自身の業務への活用を考える中で、業務の見える化、改善点について考える機会となりました。
- ✓ 大学職員の業務の本質を考えるきっかけになった。

勉強になったという意見（2件）

- ✓ RPAの仕組みと重要なポイントを学ぶことができたため。
- ✓ 勉強になることが多いので、ぜひ参加したほうが良いと思ったので。

その他意見（6件）

- ✓ RPAについて本音の部分を知ることができた。
- ✓ 2019年度のテーマがタイムリーである。
- ✓ 議題がタイムリーであり、目つ大学に特化した事例等が聞けた為。
- ✓ 他大学の生の声を聴けたのは貴重なため。製品売り込みではなく、ためになる事例紹介のため。
- ✓ 事例紹介・交流等をする機会が少ない。今後、導入必須となるであろうRPAの理解と共に機会を紹介していきたい。
- ✓ 富士通の方の説明がよかった。

意見のうち、主なものを掲載

■ 本日の分科会を実施して、開催テーマに対して得られた研究成果(疑問や課題等含めて)をお書きください

- ✓ RPAの仕組みや導入時のポイントについて知る事ができました。
- ✓ RPAを通して、業務の見通しを図るという知見。
- ✓ RPAを導入する際に気を付ける点、重要な点を知れた。
- ✓ RPAについて聞いただけで本学で何が出来るかを考えるのが難しそうな感じがしました。
- ✓ RPAを全学的に導入しようとすると課題がたくさんあることが分かった。
- ✓ RPAの適用範囲が把握できた。
- ✓ RPA導入に向けたプロセスやポイント等。
- ✓ RPA導入前に行うことや、ガバナンス面及び事前の方針を決めるべき内容について学ぶことができた。
- ✓ もう少し手軽に導入できると良い。自動化する部分とヒトが対応する部分の線引が難しいが重要。
- ✓ RPAはあくまでもツール、業務の見える化、整理、棚卸し等が重要だと改めて感じた。
- ✓ 「業務の効率化」の目線でしか見ていなかったもので、これではダメだと痛感しました。人員削減におびえる人をどのように説得するかも大事だとわかり、大変勉強になりました。
- ✓ 具体例と導入に必要な要素を知ることができた。
- ✓ ここに来たいと思わない人への業務理解を深める方法。
- ✓ 業務の可視化に良い参考になった。
- ✓ 導入前が大変重要。
- ✓ RPAはツールにすぎないが、目的ではないことを上層部にきちんと認識してもらう必要性と既存業務の可視化。
- ✓ RPAの進め方。
- ✓ 学内的な説得が重要。ルール決め、ガバナンスをきかせることが重要。他部署の協力が必要。業務の洗い出し、手順の見直し、どの業務をRPA化するのか選定が重要なことがわかった。
- ✓ 実際のツール実行を見ることが出来た。
- ✓ 今のままでいいと思わず、さらに高度化をめざす気持ちを得られた。
- ✓ 資料が充実しているので、部署に戻って共有に使いたい。
- ✓ できることできないこと、具体的な課題やポイントがわかった。
- ✓ まず「業務の洗い出し」と「可視化」ですが、年度を追うごとに新しい業務が湧くことが課題です。
- ✓ RPAを導入した所で人を減らせるわけではない。向いている作業、向いていない作業があること。人の作業は必ず残る。

■ 次回以降取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください

- ✓ 従業員への効率的なICT教育の手法。
- ✓ 通信教育課程の基幹システムについて。
- ✓ セキュリティのトレンドと対策。
- ✓ 業務マニュアルの作り方（意見交換含む）。
- ✓ 教育研究システムリプレースの事例紹介。
- ✓ 危機管理①安否確認の情報集約（キャンパス内外） ②保護者への公開・通知 ③出勤できない職員が行える業務など。
- ✓ 職員のIT能力の活用（中級くらいのエクセル活用やマクロなど）。
- ✓ AIの活用例と現在実現されていること。
- ✓ AI-OCR
- ✓ AIの活用。

4. 参加校 [27校55名] ・参加企業[9社40名] ・参加総数[95名]

亜細亜大学[1] 鎌倉女子大学[2] 神田外語大学[2] 九州産業大学[1] 共立女子大学[1] 神戸学院大学[1] 産業能率大学[2] 芝浦工業大学[6] 女子栄養大学[1]	城西大学 [1] 専修大学[1] 千葉工業大学[4] 大東文化大学[1] 中部大学[1] 東海大学[8] 東京電機大学[6] 東京都市大学[1] 東洋学園大学[1]	文化学園大学[1] 武蔵大学[1] 武蔵野大学[1] 明治大学[1] 立教大学[1] 立正大学[2] 麗澤大学[1] 早稲田大学[1] 関東学院大学[4]	(株)早稲田大学アカデミックソリューション[1] (株)東和エンジニアリング[1] (株)富士通アドバンスエンジニアリング[1] 京都電子計算(株)[1] 大興電子通信(株)[4] デジタルインフォメーションテクノロジー(株)[2] 富士通関西中部ネットテック(株)[3] 富士電機ITソリューション(株)[2] 富士通(株)[25]
--	--	---	---

5. 所感

早稲田大学様のRPAはトライアル段階を過ぎ、安定運用さらに学内の多くの部門に拡大していることが良く分かりました。RPA作成者がRPA適用前、適用後の作業工程、作業時間を明確にする資料を作成していることに感心し、RPA作成者が異動になった場合、ノラロボットになることを防止する対策も策定済だったことに「ここまで来ている」と驚きました。

(富士通 文教ビジネス推進統括部 大学ビジネス推進部 佐藤)